



鼓ヶ浦キッズ

学校教育目標：「学校が楽しい、明日も来たい」知・徳・体 調和のとれた子ども育成

2021年5月12日 第3号

梅雨の季節を迎えました。

学校も、はや2か月が過ぎようとしていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止には御理解御協力をいただき感謝しております。お子さんやご家族の方で熱や体調不良等の症状がありましたら、ご無理なさらず、学校に状況等を必ずご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

梅雨の季節に入りましたが、昨年、市の教育委員会に勤務しておりました9月頃、深夜に大雨暴風警報が発令され、偶然、鼓ヶ浦小の体育館が私の担当場所になり、市の職員の方と食料や飲料水等を設置し、明け方まで、体育館で待機しておりました。避難されてみえる方はおりませんでした、自然災害は予測や判断が難しいものです。

津波避難訓練を行いました。

5月7日(金)、PTA、子どもを守る会、鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー、鈴鹿警察署南部交番等の方々のご理解ご協力を得て、2年ぶりに津波避難訓練を実施しました。

保護者の皆様の中には、天候やお子さんの体調面も心配された方もお見えだったかと思いますが、事故や怪我もなく無事に稲生小学校まで避難をすることができました。

何か家庭でお子さんと話し合われたこと、ご意見等ございましたら、ぜひお聞かせください。

さて、6年生が稲生小運動場までに要した時間は、49分24秒で、最後の1年生は1時間2分52秒でした。

南海トラフ地震等による津波がこの地域に到達するのは約1時間と言われているので、想定では津波から逃れることができますが、訓練では、鈴鹿警察署、地域の方々による引率、危険個所での誘導等をしていただけですが、実際に避難する場合、教職員13名程度で140名の児童の安全を確保し避難することになります。さらに、稲生小学校までの避難経路の状況も事前に確認し、教職員が連携し、冷静・的確な判断に基づき行動しなければなりません。

訓練後、児童からは、「避難経路にカメラを設置し、川や道路等の状況が小学校に映像がつながるようにした

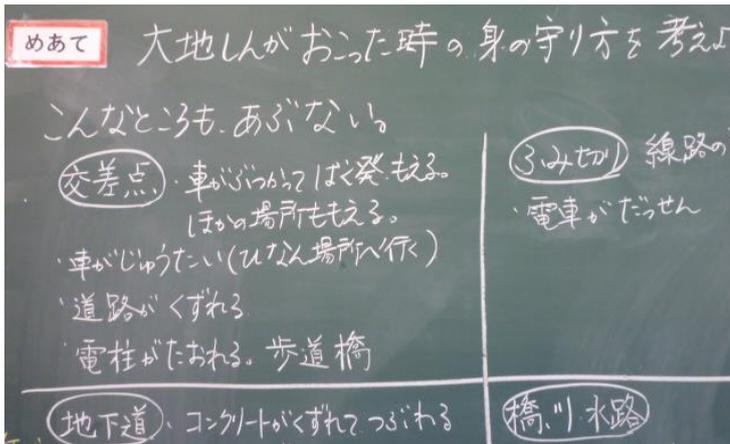


らよい」「6年生が先に行かずに、帰路のように1年生と一緒に避難する方がよい」など、改めて、子どもたちから教えられました。

私たちも今回の訓練の反省や課題を出し合い、今後の児童の防災教育に活かす必要があります。

最後になりましたが、訓練に際しまして、あらためて、PTAはもとより、鼓ヶ浦小学校区子どもを守る会、鼓ヶ浦公民館おじさんセミナーの皆様方には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

←5年生の事後学習(5/10)



松井様 鼓ヶ浦公民館おじさんセミナーのみなさま、ありがとうございました。



4月27日(火)天候にも恵まれ、5年生が田植え体験を行いました。

体験に先立ち、4月19日(月)、田んぼをお借りする松井様、おじさんセミナーの方々を迎えて、事前学習を行い、苗の持ち方や植え方、田んぼに入る時の注意点などを学びました。

最初は恐る恐る足を入れていましたが、最後の方には、ペースも上がり無事に植え終わることができました。稲の育て方、米の作り方などを始め、時間と努力を重ねて白いお米になることをお聞きし、教科書の内容を実体験として稲作についての学習を深めることができました。

秋には収穫体験を行う予定です。松井様、引率やご指導いただいたおじさんセミナー、鼓ヶ浦公民館の皆様、ありがとうございました。



— ご注意ください —
側溝工事が7月末まで行われます 📍

工事箇所は太線の辺りです。車は終日通行止めです。子どもたちの通学路となっていることから、学校から市に申し入れ、歩行者用スペースは終日、確保していただいています。誘導員も立っていただいています。下校時に何か心配なことやお気づきのこと等がございましたら、学校まで、ご連絡ください。

